

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	建設工学創造実験
科目基礎情報						
科目番号	94038			科目区分	専門 / 選択	
授業形態	実験			単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	建設工学専攻A			対象学年	専1	
開設期	通年			週時間数	1	
教科書/教材	／プリント等					
担当教員	川西 直樹					
到達目標						
(ア)与えられた課題を解決するための全体計画および工程を企画・立案し、これを遂行することができる。 (イ)問題点や改善点を抽出し、適当な解決策を提示することができる。 (ウ)課題解決のための実験・実習を独自に企画立案し、必要なデータを抽出することができる。 (エ)課題全体で実施した内容を整理し、分かりやすく報告することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	与えられた課題を解決するための全体計画および工程を適切に企画・立案し、これを確実に遂行することができる。		与えられた課題を解決するための全体計画および工程を企画・立案し、遂行することができる		与えられた課題を解決するための全体計画および工程を企画・立案することができない。	
評価項目2	キーとなる問題点や改善点を適切に抽出し、適当な解決策を提示することができる。		問題点や改善点を抽出し、解決策を提示することができる。		問題点や改善点の抽出ができず、解決策を見つけることができない。	
評価項目3	課題解決のための実験・実習を独自に適切に企画立案し、必要なデータを抽出、分析することができる。		実験・実習を企画立案し、必要なデータを抽出することができる。		必要な実験、実習を企画立案することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	本実験では、本科で学んできた基礎知識を土台にしたより実践的な能力、すなわち、総合的なエンジニアリング・デザイン能力を養成することを目的とする。与えられた課題に対して計画・作業工程を立案し、必要となる実験や設計計算などを自ら計画・実践し、そこで生じる課題、問題点および改善点などを抽出し、それまでに培った基礎知識と自らの工夫を融合することで解決法を提案し、課題や問題に対する解決能力を養う。					
授業の進め方・方法						
注意点						
選択必修の種別・旧カリ科目名						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	課題解決に対する計画と工程の立案：与えられた課題を吟味し、遂行するための全体計画および作業工程を立案する		課題解決のための全体計画と行程を立案できる。	
		2週	課題解決に対する計画と工程の立案：与えられた課題を吟味し、遂行するための全体計画および作業工程を立案する		課題解決のための全体計画と行程を立案できる。	
		3週	課題解決に対する計画と工程の立案：与えられた課題を吟味し、遂行するための全体計画および作業工程を立案する		課題解決のための全体計画と行程を立案できる。	
		4週	作業の実施：作成した作業計画に基づき設計など課題解決に向けた具体的な作業を実施する		全体計画に基づき課題解決のため具体的な作業をチームで実施することができる。	
		5週	作業の実施：作成した作業計画に基づき設計など課題解決に向けた具体的な作業を実施する		全体計画に基づき課題解決のため具体的な作業をチームで実施することができる。	
		6週	作業の実施：作成した作業計画に基づき設計など課題解決に向けた具体的な作業を実施する		全体計画に基づき課題解決のため具体的な作業をチームで実施することができる。	
		7週	作業の実施：作成した作業計画に基づき設計など課題解決に向けた具体的な作業を実施する		全体計画に基づき課題解決のため具体的な作業をチームで実施することができる。	
		8週	作業の実施：作成した作業計画に基づき設計など課題解決に向けた具体的な作業を実施する		全体計画に基づき課題解決のため具体的な作業をチームで実施することができる。	
	2ndQ	9週	作業の実施：作成した作業計画に基づき設計など課題解決に向けた具体的な作業を実施する		全体計画に基づき課題解決のため具体的な作業をチームで実施することができる。	
		10週	作業の実施：作成した作業計画に基づき設計など課題解決に向けた具体的な作業を実施する		全体計画に基づき課題解決のため具体的な作業をチームで実施することができる。	
		11週	作業の実施：作成した作業計画に基づき設計など課題解決に向けた具体的な作業を実施する		全体計画に基づき課題解決のため具体的な作業をチームで実施することができる。	
		12週	作業の実施：作成した作業計画に基づき設計など課題解決に向けた具体的な作業を実施する		全体計画に基づき課題解決のため具体的な作業をチームで実施することができる。	
		13週	作業の実施：作成した作業計画に基づき設計など課題解決に向けた具体的な作業を実施する		全体計画に基づき課題解決のため具体的な作業をチームで実施することができる。	
		14週	問題点・改善点の抽出：1次作業から得られた成果を評価・分析し、課題に対する問題点・改善点を抽出する		1次作業から得られた成果の自己評価、分析、問題点の抽出などができる。	
		15週	問題点・改善点の抽出：1次作業から得られた成果を評価・分析し、課題に対する問題点・改善点を抽出する		1次作業から得られた成果の自己評価、分析、問題点の抽出などができる。	
		16週				

後期	3rdQ	1週	問題点・改善点の抽出：1次作業から得られた成果を評価・分析し、課題に対する問題点・改善点を抽出する	1次作業から得られた成果の自己評価、分析、問題点の抽出などができる。
		2週	問題解決方法の提示：各問題点や各改善点に対する具体的な解決方法を提案する	問題点を解決するための方法をグループで提案することができる。
		3週	問題解決方法の提示：各問題点や各改善点に対する具体的な解決方法を提案する	問題点を解決するための方法をグループで提案することができる。
		4週	問題解決方法の提示：各問題点や各改善点に対する具体的な解決方法を提案する	問題点を解決するための方法をグループで提案することができる。
		5週	各種実験によるデータ収集：問題解決のため必要に応じ材料、構造、土質、水理、環境計測実験などを行う	問題解決に必要となる実験、実習を企画し、実行してデータ収集を行い分析することができる。
		6週	各種実験によるデータ収集：問題解決のため必要に応じ材料、構造、土質、水理、環境計測実験などを行う	問題解決に必要となる実験、実習を企画し、実行してデータ収集を行い分析することができる。
		7週	各種実験によるデータ収集：問題解決のため必要に応じ材料、構造、土質、水理、環境計測実験などを行う	問題解決に必要となる実験、実習を企画し、実行してデータ収集を行い分析することができる。
		8週	各種実験によるデータ収集：問題解決のため必要に応じ材料、構造、土質、水理、環境計測実験などを行う	問題解決に必要となる実験、実習を企画し、実行してデータ収集を行い分析することができる。
	4thQ	9週	各種実験によるデータ収集：問題解決のため必要に応じ材料、構造、土質、水理、環境計測実験などを行う	問題解決に必要となる実験、実習を企画し、実行してデータ収集を行い分析することができる。
		10週	各種実験によるデータ収集：問題解決のため必要に応じ材料、構造、土質、水理、環境計測実験などを行う	問題解決に必要となる実験、実習を企画し、実行してデータ収集を行い分析することができる。
		11週	各種実験によるデータ収集：問題解決のため必要に応じ材料、構造、土質、水理、環境計測実験などを行う	問題解決に必要となる実験、実習を企画し、実行してデータ収集を行い分析することができる。
		12週	プレゼンテーション：与えられた課題について上記の(1)-(5)で実践した内容を整理し、報告する	取り組んだ課題に対して、その内容全般をレポートとして整理し、プレゼンテーションを行うことができる。
		13週	プレゼンテーション：与えられた課題について上記の(1)-(5)で実践した内容を整理し、報告する	取り組んだ課題に対して、その内容全般をレポートとして整理し、プレゼンテーションを行うことができる。
		14週	プレゼンテーション：与えられた課題について上記の(1)-(5)で実践した内容を整理し、報告する	取り組んだ課題に対して、その内容全般をレポートとして整理し、プレゼンテーションを行うことができる。
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		最終発表	課題	合計	
総合評価割合		30	70	100	
専門的能力		30	70	100	